

50周年記念山行

【山城】北アルプス南部

【コース】①上高地～槍沢ロッジ～殺生ヒュツテイ～槍ヶ岳山荘～

②中岳～南岳～大キレット～北穂高小屋～北穂高岳～涸沢～上高地

【日 程】7/15日（金）～7/18日（月）

【天 候】7/15日：ごく弱い雨、霧、晴れ 7/16日：霧、晴れ 7/17日：荒天
のため下山 7/18日：中止

【メンバー】ゆったり組 CL 鈴木憲二、鈴木愛子、山内（記録）
ややガンバル組 SL 田中、L 細谷、今泉、大森、江橋、
山本、狩野、時田、吉瀬、富樫富久美、薄井

【山行タイム】

7/15 ゆったり組 千葉朝4時発⇒中央道⇒9:10 沢渡⇒(タクシー)10:00 上高地→
13:18 横尾→15:03 槍沢ロッジ泊

ややガンバル組 千葉夜21時発⇒中央道⇒松本⇒沢渡（仮眠）

7/16 ゆったり組 槍沢ロッジ5:40→11:00 槍ヶ岳山荘泊

ややガンバル組 沢渡⇒(タクシー)上高地6:00→槍沢ロッジ→16:20～
17:10 槍ヶ岳山荘泊

山行報告

《今回の状況説明》

1. 今回は①コースを往復登山。 ②コースは荒天で中止せざるをえなく断念。
2. 15、16日は曇り晴れ（少し弱雨あり）、16日は時々霧がかかるもほぼ全日晴天で予定通りの登山となる。
3. 17日は早朝に全員で槍ヶ岳に登頂して頂上で横断幕を持ち記念撮影の予定であつたが、17日が雨の予想であつたので予定を変え、

16日中に ゆったり組（前日 槍沢ロッジ泊）が槍ヶ岳山荘に11:00に着いたので3名が槍ヶ岳に登り横断幕撮影。 同じく16日、その後 ややガンバル組が16:30～17:20にかけ槍ヶ岳山荘に着き始めたので、早めに着いた数名ずつが休憩後に槍ヶ岳に登頂して、それぞれ横断幕撮影。 2名が体調の関係で槍ヶ岳登

頂を断念。 そのようなわけで、全員の槍ヶ岳登頂の横断幕記念撮影はなし。

4. 17,18 日に、 予定していた②コースは、16 日の夕食後、天気予想をいろいろと調べて話し合いがあり、(1) 天気にかかわらず全員が行く、(2) 荒天なら全員が即、来た道で下山、(3) 荒天の様子により、健脚、経験度合等で二組に分かれて、予定とうりの登山続行組 (50 周年山行をつなぐため) と下山組にする話し有。
取りあえずは、17 日の早朝の天気を見て (1) ~ (3) の判断をすることに決める。

5. 17 日の 2 時 (真夜中) ころから窓の外は猛烈な風と雨が吹き、その音が室内まで聞こえてきて早朝も変わらず。 起床後、外は荒天のため雨、風、霧でまったく視界がきかず、全員即下山を決定。
5 時の朝食を取り、談話室にて全員で横断幕記念撮影、 早々にザックカバー、雨具カップ上下、スパッツ等装着後、槍ヶ岳山荘の前 (外) でもう一度横断幕記念撮影をして 6:13 下山開始。

その直後、山荘の玄関横奥に胸に救助隊の名前が入った 2 名の男性が立っていたので、CL 鈴木さんと山内がたまたま話しかけたところ、今日は北穂高に行く人たちを止めているとのことでしたので、全員の下山は正しい判断だと思われれます。

山の解説書などによれば、 槍・穂高縦走は、国内でも第一級の岩稜縦走路、南岳から北穂高へは大キレット、特に長谷川ピーク付近は槍・穂高縦走路で一番の難所になっているとのこと様ですので。

【当初計画】

7/15 ゆったり組 千葉朝 4 時発⇒中央道⇒沢渡⇒(タクシー)上高地→横尾→槍沢ロッジ泊

ややガンバル組 千葉夜 21 時発⇒中央道⇒松本⇒沢渡 (仮眠)

7/16 ゆったり組 槍沢ロッジ→槍ヶ岳山荘泊

ややガンバル組 沢渡⇒(タクシー)上高地→槍沢ロッジ→槍ヶ岳山荘泊

7/17 ゆったり組+ややガンバル組の全員で行動。

槍ヶ岳を全員登頂→横断幕記念撮影→槍ヶ岳下山→南岳→大キレット→
長谷川ピーク→北穂高小屋泊

7/18 北穂高岳→涸沢→横尾→上高地⇒(タクシー)沢渡⇒松本⇒中央道⇒帰葉

【行動実績】

一週間前から前日までの天気予想では、ほぼ全行程の15日～18日は曇り雨模様であったが、14日の午後からの天気予想では15,16日は良くなる方向なので、CL鈴木さんから予定どおり実行との広報あり。

7/15(金) 曇り時々雨のち薄晴れ

<ゆったり組> 前日14日は山内が夜、会の事務所に泊り、早朝4:30 会事務所で迎える鈴木さんの車に乗り出発、中央道の双葉で休憩、朝食。途中弱い雨模様で車のフロントに雨が当たる状態であった、松本8:40着、沢渡9:10着、此处でタクシー乗り場を探し、駐車場で登山の身支度をしてタクシーに乗り9:30出発、上高地10:00着 すでに弱雨なのでザックにザックカバーを装着したが、雨具カッパ上下は着なくてもよさそうなので着けず、何時でも取り出せるようにしておいた、その他連絡事項を済ませ、10:30上高地出発して明神池11:15 雨が止むが何時また降りそうなのでザックカバー装着したまま---徳沢園12:05---休憩---横尾13:18 このあたりから晴れだしたり、曇ったりの繰り返しで、下の上高地のほうは霧でスッキリせず。上の槍ヶ岳方面も霧がかかったり、雲の切れ間から穂高連峰が見えたりとの状態で15:30槍沢ロッジ着。

梅雨の期間のためか、ほとんど混んでなく、すぐに風呂に入り空いていたので、ゆっくりと湯船につかり、寝床も5人のところが我々3人でゆっくり使えました。



ゆったり組の登山開始の河童橋



横尾： 天気もそれなり良いで

す！

7/16(土) ガス曇り、登りにしたが晴れ

<ゆったり組> 槍沢ロッジ 5:40 出発 昨日のほぼ平坦であり登りのないのに比べ、今日は出発からすぐに登りの連続であるが、あまりペースは落ちず。年の割には健脚？ しかし徐々に傾斜が増して高度があがるが、時々霧の合間から

何回も穂高連峰の山並みが見えたり隠れたり、水量豊富な沢をとうり、九十九折(つづらおり)にシナノキンバイ、日光キスゲ、などその他いろいろなお花畑をみながら天狗原分岐 7:50 短い雪渓を横切り、最後の水場も過ぎ、このあたりから遠くに穂高連峰や槍ヶ岳の先方が見えたり、ガスでまた隠れたり交互の繰り返しが続く。 槍ヶ岳を開山した播隆上人ゆかりの播隆窟 9:05 又お花畑が現れ、右左に見ながら、ここから槍ヶ岳小屋にいたる岩塊の急登斜面をジグザクに、ところどころ岩に記された槍の肩までの距離(数字)をみながら、まだか、まだかと思いつつ更なる急登を行き、前面の上部に槍の穂先の変化のみごとな様子を見ながらようやく 槍ヶ岳山荘到着 11:00。



お花畑



雪渓、遠くに槍ヶ岳(天気良好)

槍ヶ岳山荘の受付を済ませ、11:25 荷を置いて槍ヶ岳の穂先に、槍ヶ岳山頂 11:55 晴天で 360 度の絶景で穂高連峰、常念山脈はじめ、北アルプスの表、裏銀座の一部の山々を見ることができ、おまけに人があまりいなくて頂上に 25 分ほどいて降りはじめ槍ヶ岳山荘 12:50 に着き、泊りの部屋に荷物を運びましたが、ここでも 20 人部屋が今日はちば山の会 14 名で貸切となりました。 ラッキー！

槍ヶ岳頂上で横断幕記念撮影



槍ヶ岳頂上から 360 度の展望



この後、今日 6:00 上高地から登り始めた、ややガンバル組の人達が急登を登り切り、続々と到着始める 16:30~17:20 荷物を置いて、明日の天気が思わしくないで少し休んで、槍ヶ岳山頂へ向かう。

(ややガンバル組の人達は前日 21:00 千葉を出発し、車の中で交代で仮眠を取りつつ沢渡でも仮眠テントで仮眠を取り、すぐに 6:00 上高地を出発して約 10 時間かけて最後のながい急登を登り槍ヶ岳山荘に着き次第、また一時間かけて槍ヶ岳頂上往復には脱帽です、ほんとうにすごい! さすが ちば山ですね。)

ややガンバル組 槍ヶ岳山荘に続々到着。 天気良好



それから登り始めた
ややガンバル組の槍ヶ岳山頂の
人達 16:50~18:00

7/17(日) ページ1の《今回の状況説明》参照ください。

雨、濃霧、強風などで、あとの予定を取り止め6:15下山開始して
上高地14:00到着。この間雨やまず。

この後、タクシーで沢度に戻り、来た時の各車両に乗り換えて、途中地酒店
でお土産購入、温泉で汗を流し、食事をして18:30に松本から高速道路に乗り、
途中で渋滞に合いながら23:00前後千葉に着く。



17日6:10 荒天
全員で横断幕を持ち
槍ヶ岳山荘前で記念
撮影。この後ただち
に下山開始。以後の
山行は中止